



# 九州財務局の地域連携事例集 (令和4年度)

令和5年6月  
財務省九州財務局

☆全国財務局の地域連携事例はホームページでもご覧いただけます☆  
地域連携事例集トップページ

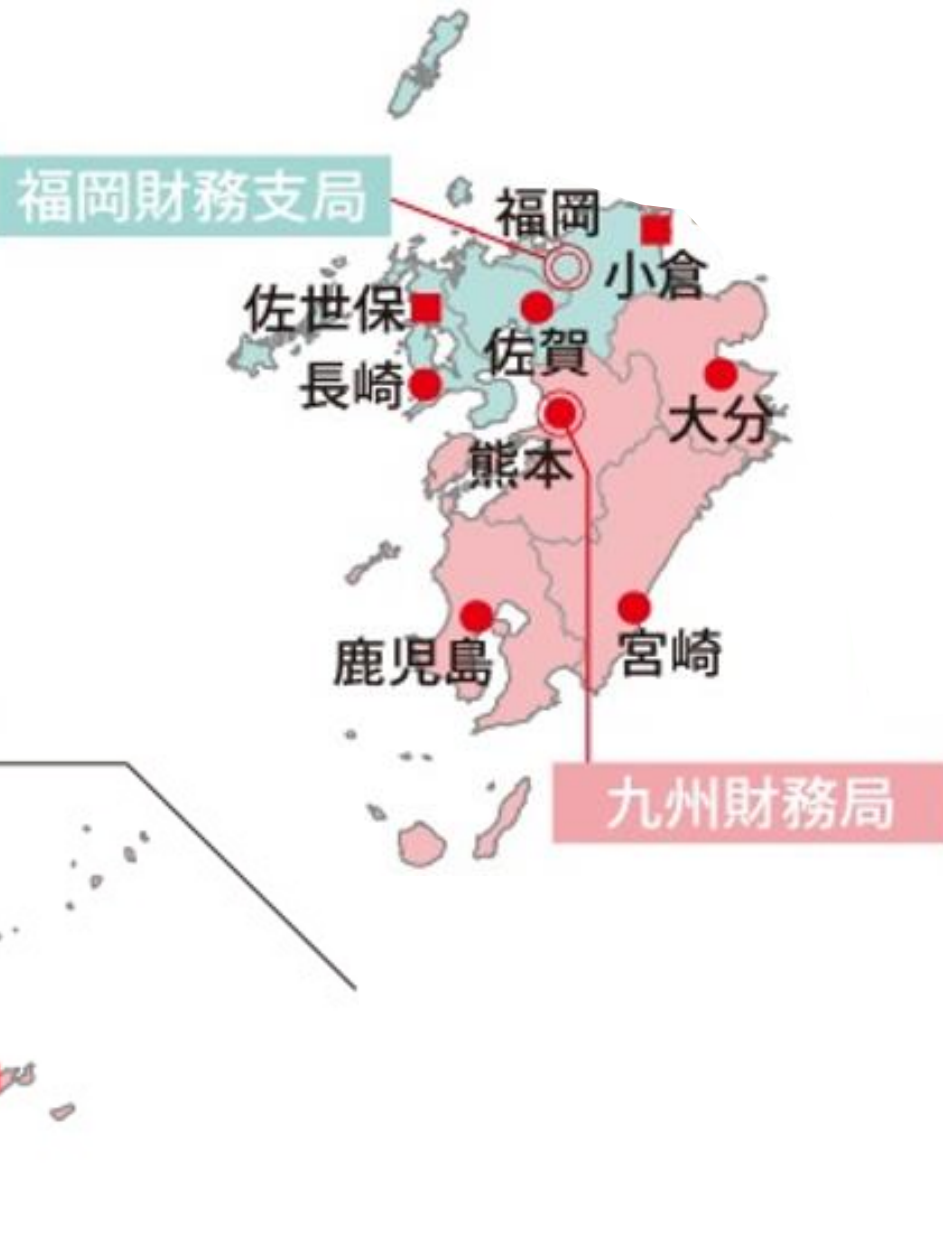
[https://www.mof.go.jp/about\\_mof/zaimu/renkei/index.htm](https://www.mof.go.jp/about_mof/zaimu/renkei/index.htm)



# 目次

目次	局・所	頁
<b>九州財務局について</b>		
九州財務局管内案内図		1
財務局の業務		2
<b>九州財務局の地域連携事例</b>		
熊本駅周辺地域帰宅困難者対応訓練の実施	本局	3
熊本県水俣市における予算執行調査の説明会及び意見交換会	本局	4
我が国の経済安全保障に関するセミナーを開催 【経済安全保障セミナー in Kumamoto】	本局	5
地域活性化のための政策金融セミナーを開催	本局	6
熊本県内金融機関等の若手職員向け勉強会 ～ 県内金融機関、支援機関等の連携 ～	本局	7
熊本県甲佐中学校におけるお金の授業	本局	8
離島航路の維持・活性化に向けて	鹿児島	9
不動産鑑定評価勉強会及び意見交換会	宮崎	10

# 九州財務局管内案内図



## 九州財務局の管轄区域 (都道府県)

九州南部地区 (熊本、大分、宮崎、鹿児島)

局・所	住 所	電話番号
九州財務局	〒860-8585 熊本市西区春日2-10-1 (熊本地方合同庁舎)	096- 353-6351
大分財務事務所	〒870-0016 大分市新川町2-1-36 (大分合同庁舎)	097- 532-7107
宮崎財務事務所	〒880-0805 宮崎市橘通東3-1-22 (宮崎合同庁舎)	0985- 22-7101
鹿児島財務事務所	〒892-0816 鹿児島市山下町13-21 (鹿児島合同庁舎)	099- 226-6155
名瀬出張所	〒894-0036 奄美市名瀬長浜町1-1 (名瀬合同庁舎)	0997- 52-0728

# 財務局の業務

## 1. 財政

- (1) 適正かつ効率的な予算執行の確保(予算執行調査等)
- (2) 災害復旧事業の査定立会
- (3) 地方公共団体への財政融資資金の貸付

## 2. 国有財産

- (1) 国有財産の効率的な使用のための総合調整
- (2) 地域や社会のニーズに対応した国有財産の有効活用
- (3) 国有財産を通じた災害対応・防災対応

## 3. 金融

- (1) 地域金融機関等の検査・監督
- (2) 中小企業金融の円滑化に向けた取組
- (3) 金融商品取引等の監視

## 4. 経済調査

- (1) 地域経済情勢等の調査
- (2) 地域の意見・要望を本省庁に伝達

## 5. 広報相談

- (1) 財務省及び金融庁の重要施策等の広報活動
- (2) 各種団体の会合・学校・研修会等への講師派遣
- (3) 多重債務者相談

## 6. 経済安全保障

- (1) 外国人投資家による投資等に関する相談対応や情報提供の受付
- (2) 金融機関や商工会議所等へ対内直接投資審査制度の周知活動
- (3) 経済制裁の実施状況に係る地域金融機関等の検査

# 熊本駅周辺地域帰宅困難者対応訓練の実施

熊本地方合同庁舎において、大規模災害時に熊本駅周辺で発生が予想される帰宅困難者への支援体制を検証するため、関係団体と共同で対応訓練を実施。

## 概要

- 熊本駅周辺地域帰宅困難者対策協議会（ＪＲ九州など駅周辺団体で構成）が主催。
- 物資・施設の提供を行う**熊本市と九州財務局が共催の立場で参加**したほか、ＪＲ九州、ザ・ニューホテル熊本、春日クリニックなど6団体が参加。



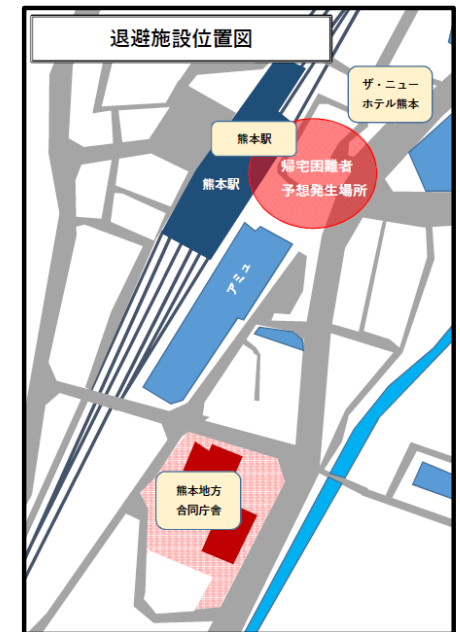
【避難訓練の様相①】



【避難訓練の様相②】

## 取組の成果

- 訓練を通じ、**合同庁舎の災害対応能力の向上**が図られたほか、**災害時における帰宅困難者への支援体制を検証**することで、**地域防災に資**することとなった。



## 【今後の展開】

- 引き続き、「熊本駅周辺地域帰宅困難者対策協議会」に参加し、**地域防災への貢献**や**合同庁舎の災害対応能力の向上に努める方針**。

# 熊本県水俣市における予算執行調査の説明会及び意見交換会

補助金等の申請・執行を行う地方公共団体との意見交換等を通じ、予算執行調査に係る情報について共有。

## 概要

- 予算執行調査の概要説明ののち、水俣市との意見交換会を実施。
- 水俣市から、デジタル田園都市国家構想交付金、認定こども園に係る給付金など、国の補助金等に関する議題の事前提出を受け、これに沿って国、地方公共団体それぞれの立場から意見を述べるフリーディスカッション形式で実施。



【予算執行調査の概要説明の様子】



【意見交換会の模様】

## 取組の成果

- 説明会及び意見交換を通じて水俣市との連携強化を図ることができた。
- 議題のうち1件を、令和5年度予算執行調査事案の候補（認定こども園に係る給付金）として本省へ提出したことにより、水俣市の問題意識を本省とも共有できた。

### 【参加者の声】

- 今回のような意見交換会を開催してもらうのは相互理解を深めるうえでも非常に意味がある。ぜひ、自治体の意見や要望を本省に伝えていただきたい（水俣市職員）。
- 要望や意見を主張するだけでなく、お互いの立場を理解し、寄り添いながら、双方にメリットのある解決策を議論する場合は貴重な経験となった（財務局職員）。

### 【今後の展開】

- 国と地方公共団体の双方がお互いの立場や役割を理解し、議論することは重要。引き続き地方公共団体との意見交換の場を通じて、予算執行調査の周知と、調査の実効性向上に努めていく。

# 我が国の経済安全保障に関するセミナーを開催

【経済安全保障セミナー in Kumamoto】

九州財務局では、令和4年7月から新たな業務となった「対内直接投資審査制度」の周知活動として、管内の土業や金融機関等を訪問。その際「我が国の経済安全保障について知りたい」との声が多かったことから、関係府省庁等の担当者を講師として広く参加者を募ったセミナーを開催。

## 概要

- 内閣府、公安調査庁、熊本県警、財務省国際局、税関の担当者から、我が国の経済安全保障に係る対応状況や技術流出の実例を基に講演を実施（WEB+リアル）。
- 管内の土業、金融機関、半導体・精密機械関連企業、大学・高専、地方公共団体など約90名が参加。



【セミナーの様相】

1. 開会挨拶 九州財務局	14:00~14:03
2. 経済安全保障の取組について 内閣府経済安全保障推進室	14:03~14:33
3. 対内直接投資審査制度について 財務省国際局調査課 投資企画審査室	14:33~15:03
休 憩	
4. 経済安全保障の確保に向けて - 技術・データ等の流出防止 - 公安調査庁 経済安全保障特別調査室	15:03~15:08 15:08~15:38
5. 外国への技術流出のリスク 熊本県警察本部警備部外事課	15:38~15:58
6. 経済安全保障に関する税関の取組 財務省税関 情報センター	15:58~16:28
7. 閉会挨拶 九州財務局	16:28~16:30

【セミナーのカリキュラム】

## 取組の成果

### 【参加者の声】

- 経済安全保障の全体像、守るべき対象の広がり等を学ぶことができてよかった。
- 半日という短い時間だったが、とても有意義なセミナーだった。

### 【報道】

- テレビでセミナーの様相が放送されたほか、地元紙や金融業界紙でも報道されるなど取組の周知につながった。

### 【今後の展開】

- 本セミナーは広く参加者を募って開催した財務局初の事例。今後も関係府省庁等と連携し、効果的かつ相手方が理解しやすい制度周知になるよう説明方法を工夫していく。

# 地域活性化のための政策金融セミナーを開催

福岡財務支局が九州財務局に連携を打診し、「政策金融を活かした農林水産業・食品産業の成長産業化」をテーマに、九州一円の金融機関等を対象としたオンラインセミナーを共同で開催。

## 概要

- 農林水産業・食品産業については、人口減少に伴う国内市場縮小や事業者が減少する一方で、大規模化かつ高度化した農業経営を目指す事業者が徐々に増えており、**地域活性化を担う成長産業**としての期待が高まっているほか、**農林水産物・食品の輸出や海外展開**に向けた環境整備が進められている。
- 農林水産事業者等による輸出拡大**に向けては、効率的な輸出物流の構築や海外での販路拡大等を行う必要があり、このためには、**事業者ニーズを把握している民間金融機関と専門的ノウハウを持つ日本政策金融公庫等との連携が不可欠**。そこで、関係機関における当該輸出等の機運を高めることを目的としたセミナーを企画。

## セミナーのプログラム

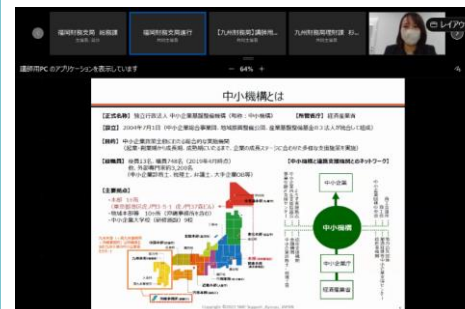
1. 農業等を取り巻く情勢変化と日本公庫（農林水産事業）の取組  
～民間金融機関の農業融資活性化の支援～ [日本政策金融公庫](#)
2. 農林水産物・食品の海外輸出の現状、改正輸出促進法について [九州農政局](#)
3. 食産業への海外展開支援について [中小企業基盤整備機構九州本部](#)

## 取組の成果

- 両局管内の金融機関等から約40先が参加。
- 各講師が、農林水産物・食品輸出の現状、輸出拡大に向けた制度資金等の各種施策及び海外展開支援メニュー等について説明。この結果、**関係機関における当該輸出等の機運を高める**ことができたほか、**同機関間における連携・協調の更なる進展の契機**を付与することができた。

## 参加者の声

- 政策に至る背景まで理解することで、日々の業務に活かせることが多くあった。
- 支援策・連携ツールが参考になったほか、公庫等との連携の取組が理解できた。
- 海外展開を検討する取引先が増加し関心が高まっており、タイムリーだった。





# 熊本県内金融機関等の若手職員向け勉強会

～ 県内金融機関、支援機関等の連携 ～

熊本県内金融機関等の若手職員の経営支援力向上と金融機関同士のノウハウ共有、交流を目的として、2日間にわたり勉強会を開催。

## 概要

○**県内金融機関の若手職員**のほか、**商工中金、日本政策金融公庫、信用保証協会、九州経済産業局**などの参加。

○講師陣には、**よろず支援拠点のチーフコーディネーター**や**追手門学院大学水野教授**などを招聘。

○**1日目**は、よろず支援拠点担当者による基調講演に加え、九州経済産業局から事業者支援に係る各種施策の説明を実施。

○**2日目**は、金融庁職員によるワークショップ、水野教授による講演を実施。



【勉強会の模様】

## 取組の成果

○現場で事業者支援に携わる関係者が一堂に会して勉強会を行うことで、**参加者の経営支援力の向上、連携・交流**が図られ、**事業者支援体制の強化**に繋がる。

○**当局職員**や**九州経済産業局職員**が研修生として参加し、金融機関職員と交流することで、**職員の知見の向上、モチベーションアップ**に繋がる。

### 【参加者の声】

「他の金融機関や支援機関の職員との交流ができた」、  
「水野教授や支援機関の講義が有意義であった」  
など、**好意的な意見が多数**。

### 【今後の取組】

**顔が見える関係構築**を目指し、関係機関と連携しながら**定期的に勉強会を実施**していく方針。



【勉強会参加者】

## 熊本県甲佐中学校におけるお金の授業

「経済とお金のはなし」をテーマに、「お金って何?」「モノの値段の決め方」「お金とうまく付き合う」について、グループワークも交えながら講義を実施。

### 概要

○外部講師による金融リテラシー教育を実施したいと考えていた甲佐中学校に対して、当局職員が財務局を案内したところ、是非授業をお願いしたい旨の依頼。

○2月28日に1年生3クラス（約100名）、3月15日に2年生3クラス（約100名）において、4名の講師と4名のサポーターが、グループワークを交えながら授業を実施。

○財務局内の公募で選ばれた講師は、分かりやすい授業を目指して、何度も打ち合わせを行い授業資料を作成。



【2/28の授業風景】



【3/15の授業風景】

### 取組の成果

- ・「なりたい職業」についてグループワークを行い、お金を稼ぐ意味を考え、仕事への関心を高めることができた。
- ・当局職員の授業の教材作成や授業実施の能力向上。

### 参加した生徒の声

- ・1ドルの日本での価値について考えたことはなかったが、円高や円安があるということを知り印象に残った。
- ・物の価格は需要と供給で決まるということを知り初めて知った。
- ・お金と上手に付き合っていくために、トラブルなどの対策や金銭管理をしっかりしていこうと思った。

### 校長先生の声

- ・金融リテラシーは**小中学校のできるだけ早い時期から段階的に教える必要**。次年度もぜひお願いしたい。

**【今後の展開】**機会を捉えて、積極的に若年層を含めた地域住民の金融リテラシーの向上に寄与するため、同様の取組を継続していく方針。

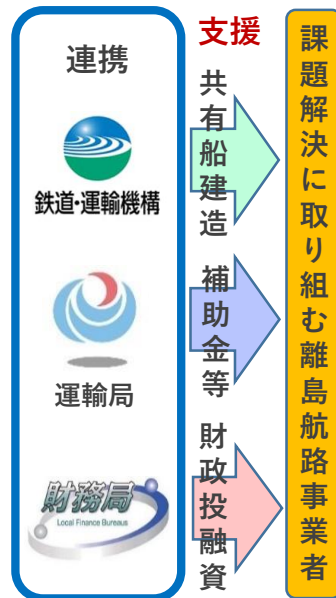
# 離島航路の維持・活性化に向けて

利用者の減少や高齢化など離島航路に関する課題の解決に取り組む離島航路事業者(地方公共団体及び民間企業)を支援するため、財務局、運輸局及び(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JRTT)が連携してWebセミナーを開催。

## 概要

○離島航路の利用者の減少・高齢化が進行している中、老朽船舶の更新が行われず、利用者数に比して過大な船舶や高齢者等へのバリアフリー化が図られていない船舶などが存在しており、離島航路維持にあたっての課題となっている。

○このような課題を有する離島航路事業者の取組を支援するため、長崎財務事務所を皮切りに、四国財務局、鹿児島財務事務所においてもWebセミナーを開催。JRTTからは技術面・資金面で船舶建造を支援する制度を、運輸局からは離島航路に関する補助金等を、財務局からは財政投融資をそれぞれ説明した。さらに、四国財務局では離島経済活性化をテーマに有識者による講演も実施した。



## 取組の成果

- セミナー開催後、参加した離島航路事業者からJRTTに老朽船舶更新についての相談が寄せられ、JRTTでは船舶建造の支援制度の活用を検討するなど、課題解決に向けた取組が進められている。
- 事後アンケートでは、「離島航路に関する補助制度やJRTTの支援制度、離島経済振興のためのヒントなどを知ることができ、有意義であった」との声や、「Webセミナーのため、離島からも容易に参加できたので今後もこうしたセミナーを開催して欲しい」といった声が寄せられた。



Webセミナーの様様



船舶共有建造制度を活用した離島航路旅客船「めおん(高松～女木島～男木島)」

# 不動産鑑定評価勉強会及び意見交換会

宮崎県内地方公共団体の公有財産担当職員を招待し、不動産鑑定評価勉強会(講義形式)と意見交換会を開催。

## 概要

- 宮崎財務事務所において毎年開催。(令和2年度は書面方式)
- 不動産鑑定業務法人から講師を招くとともに、**県内地方公共団体の公有財産担当者にも参加を呼びかけ。**
- 令和4年度は県内地方公共団体から**13団体(14名)の参加**があり、意見交換会にも**7団体(7名)が参加**して国公有財産行政の疑問点等について意見を交換。



【勉強会の模様①】



【意見交換会の模様】

## 取組の成果

### 【参加者からの声】

- 建物の評価を学びたいと思っていたので良い機会であった。
- 鑑定評価をしてもらったことがないので勉強になった。
- 実例の資料も交えてあり、わかりやすかった。



【勉強会の模様②】



【勉強会で使用した資料】

**地方公共団体の公有財産担当者との国有及び公有財産に関するネットワークの構築・深化に寄与するとともに、双方の不動産鑑定評価の知識を向上。次年度以降も可能な限り継続する方針。**